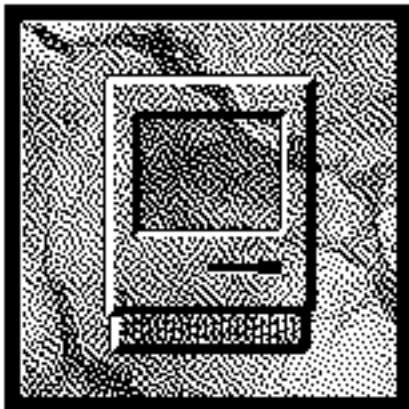


Macintosh



このマニュアルに掲載されている製品：

Macintosh
Macintosh 512K

CPU

Motorola 68000
32ビット内部データバス
7.83 MHz

RAM	128K バイトまたは 512K バイト
ROM	64K バイト
クロック	CMOSカスタムチップ (256バイトのメモリを4.5 Vのバッテリーでバックアップし、電源を投入していない間も設定内容を保持。バックアップバッテリーはユーザでも交換可能)。

フロッピー・
ディスク・
ドライブ

片面ディスク用内部ドライブ (3.5インチフロッピーディスクを使用)

キーボード	58キー（ソフトウェアで配列設定、RJ-11コネクタで接続）
マウス	機械式トラッキング方式・光学方式シャフトにより、3.54パルス/mm（90パルス/インチ）でマウスの移動距離をエンコーディング（DE-9コネクタに接続）
CRT	9インチのスクリーンに512×342ピクセル表示のビットマップディスプレイ

シリアルポート	RS-232C/RS-422シリアルポート (DE-9コネクタ) × 2
マウスポート	マウスコネクタ (DE-9コネクタ)
キーボード	同期シリアルキーボードバス (RJ-11コネクタ)
外部ドライブ ポート	外部ディスク・ドライブ・コネクタ (DB-19コネクタ)

入力電圧 AC 105 125 V

周波数 50 / 60 Hz

消費電力 最大 60 W

寸法 高さ : 345 mm
 幅 : 244 mm
 奥行き : 276 mm

重量 7.5 kg

サウンド
ジェネレータ 8ビットD/A変換による4声サウンド処理（サンプリングレート22 kHz）

トラブル症状：

何も表示されないが、オーディオ出力は可能で、ドライブも動作する

スクリーンは明るく、音声も出力されるが、何も表示されない

対処方法：

- 1) コントラストコントロールを上限まで回す。
- 2) ビデオケーブルのコネクタをチェックする。
- 3) ネットケーブルを交換する。
- 4) パワースイープボードを交換する。
- 5) ロジックボードを交換し、顧客のSIMMを取り付ける。

トラブル症状：

何も表示されないが、オーディオ出力は可能で、ドライブも動作する

スクリーンは明るく、音声も出力されるが、何も表示されない

対処方法：

- 1) パワースイープボードを交換する。
- 2) ロジックボードを交換し、顧客の SIMM を取り付ける。

トラブル症状：

フロッピーディスクをセットしてもイジェクトされ、点滅する「×」の入ったディスクアイコンが表示される

フロッピーディスクを完全に挿入できない

フロッピーディスクをイジェクトできない

内部ドライブでディスクを読めない

対処方法：

- 1) 正常なフロッピーディスクでテストする。
- 2) フロッピー・ドライブ・ケーブルを交換する。
- 3) ドライブを交換する。
- 4) ロジックボードを交換し、顧客のSIMMを取り付ける。

トラブル症状：

フロッピーディスクをセットしてもイジェクトされ、点滅する「×」の入ったディスクアイコンが表示される

フロッピーディスクを完全に挿入できない

フロッピーディスクをイジェクトできない

内部ドライブでディスクを読めない

対処方法：

- 1) ゼムクリップを引き延ばしたものなどを使い、ディスク挿入口のわきにある小さな穴の奥にある強制イジェクトレバーを押す（または、本体の電源を切ってから、マウスのボタンを押したまま電源を入れる）。その後、フロッピーディスクを正しく挿入してみる。
- 2) フロッピー・ディスク・ドライブを交換する。

トラブル症状：

フロッピーディスクをセットしてもイジェクトされ、点滅する「×」の入ったディスクアイコンが表示される

フロッピーディスクを完全に挿入できない

フロッピーディスクをイジェクトできない

内部ドライブでディスクを読めない

対処方法：

1) ゼムクリップを引き延ばしたものなどを使い、ディスク挿入口のわきにある小さな穴の奥にある強制イジェクトレバーを押す（または、本体の電源を切ってから、マウスのボタンを押したまま電源を入れる）。その後、フロッピーディスクを正しく挿入してみる。

トラブル症状：

フロッピーディスクをセットしてもイジェクトされ、点滅する「×」の入ったディスクアイコンが表示される

フロッピーディスクを完全に挿入できない

フロッピーディスクをイジェクトできない

内部ドライブでディスクを読めない

対処方法：

- 1) 不良ディスクと交換する。
- 2) フロッピー・ドライブ・ケーブルを交換する。
- 3) ドライブのシールド（マイラ製RFI対策用）を交換する。
- 4) フロッピー・ディスク・ドライブを交換する。
- 5) ロジックボードのROMをチェックする（「Additional Procedures - Logic Board Upgrade Kit」参照）。
- 6) ロジックボードを交換し、顧客のSIMMを取り付ける。

トラブル症状：

対処方法：

カーソルが動かない

カーソルは動くが、マウスのボタンをクリックしても反応しない

どのキーを押しても反応しない

押しても反応しないキーがある

正常な ImageWriter または ImageWriter II を接続しても、印刷できない

正常な LaserWriter を接続しても、印刷できない

- 1) マウスを接続する。
- 2) マウスを交換する。
- 3) ロジックボードを交換し、顧客の SIMM を取り付ける。

トラブル症状：

対処方法：

カーソルが動かない

カーソルは動くが、マウスのボタンをクリックしても反応しない

どのキーを押しても反応しない

押しても反応しないキーがある

正常な ImageWriter または ImageWriter II を接続しても、印刷できない

正常な LaserWriter を接続しても、印刷できない

- 1) マウスを交換する。
- 2) ロジックボードを交換し、顧客のSIMMを取り付ける。

トラブル症状：

対処方法：

カーソルが動かない

カーソルは動くが、マウスのボタンをクリックしても反応しない

どのキーを押しても反応しない

押しても反応しないキーがある

正常な ImageWriter または ImageWriter II を接続しても、印刷できない

正常な LaserWriter を接続しても、印刷できない

- 1) キーボードケーブルを交換する。
- 2) キーボードを交換する。
- 3) ロジックボードを交換し、顧客の SIMM を取り付ける。

トラブル症状：

対処方法：

カーソルが動かない

カーソルは動くが、マウスのボタンをクリックしても反応しない

どのキーを押しても反応しない

押しても反応しないキーがある

正常な ImageWriter または ImageWriter II を接続しても、印刷できない

正常な LaserWriter を接続しても、印刷できない

- 1) キースイッチを交換する。
- 2) キーボードを交換する。
- 3) ロジックボードを交換し、顧客の SIMM を取り付ける。

トラブル症状：

対処方法：

カーソルが動かない

カーソルは動くが、マウスのボタンをクリックしても反応しない

どのキーを押しても反応しない

押しても反応しないキーがある

正常な ImageWriter または ImageWriter II を接続しても、印刷できない

正常な LaserWriter を接続しても、印刷できない

- 1) セレクタとコントロールパネルの設定をチェックする。
- 2) システムソフトウェアのバージョンを調べ、互換性をチェックする。互換性の問題がある場合、適切なシステムソフトウェアをインストールする。
- 3) インタフェースケーブルを交換する。
- 4) ロジックボードを交換し、顧客の SIMM を取り付ける。

トラブル症状：

対処方法：

カーソルが動かない

カーソルは動くが、マウスのボタンをクリックしても反応しない

どのキーを押しても反応しない

押しても反応しないキーがある

正常な ImageWriter または ImageWriter II を接続しても、印刷できない

正常な LaserWriter を接続しても、印刷できない

- 1) セレクタとコントロールパネルの設定をチェックする。
- 2) システムソフトウェアのバージョンを調べ、互換性をチェックする。互換性の問題がある場合、適切なシステムソフトウェアをインストールする。

トラブル症状：

電源投入時、連続的に警告音が鳴るが、稼働状態に移行しない

クリックノイズ（カチカチ音）あるいは高音ノイズ（ピーピー音）

本体から煙／異臭が出る

ビデオが表示されず、オーディオとドライブも動作しない

対処方法：

- 1) 電圧を調整する。
（「Adjustments - Voltage」参照）
- 2) 内部ディスクドライブの接続を外す。これでトラブルが解消された場合、そのドライブを交換する。
- 3) ロジックボードを交換し、顧客のSIMMを取り付ける。
- 4) パワースイープボード、ロジックボード、内部ドライブを交換する。

注記：パワースイープボードのみの交換は避けてください。取り付けたパワースイープボードの故障をまねきます。

トラブル症状：

電源投入時、連続的に警告音が鳴るが、稼動状態に移行しない

クリックノイズ（カチカチ音）あるいは高音ノイズ（ピーピー音）

本体から煙／異臭が出る

ビデオが表示されず、オーディオとドライブも動作しない

対処方法：

- 1) ロジック・ボード・ケーブルを接続する。
- 2) 電圧を調整する。
（「Adjustments -Voltage」参照）
- 3) パワースイープボードを交換する。
- 4) ロジックボードを交換し、顧客のSIMMを取り付ける。

トラブル症状：

電源投入時、連続的に警告音が鳴るが、稼働状態に移行しない

クリックノイズ（カチカチ音）あるいは高音ノイズ（ピーピー音）

本体から煙／異臭が出る

ビデオが表示されず、オーディオとドライブも動作しない

対処方法：

- 1) パワースイープボードを交換する。

トラブル症状：

電源投入時、連続的に警告音が鳴るが、稼動状態に移行しない

クリックノイズ（カチカチ音）あるいは高音ノイズ（ピーピー音）

本体から煙／異臭が出る

ビデオが表示されず、オーディオとドライブも動作しない

対処方法：

- 1) 電源コードを接続する。
- 2) 電源を入れる。
- 3) 電源コードを交換する。
- 4) ヒューズをチェックする。
- 5) パワースイープボードを交換する。
- 6) ロジックボードを交換し、顧客のSIMMを取り付ける。

トラブル症状：

リセット/インタラプトスイッチを装着しているとき、突然システムが再起動することがある

アップグレードされた Macintosh 512K で RFIシールドが2枚使われている

対処方法：

- 1) リセット/インタラプトスイッチを外してから、接点となるプラスチック部分を1.5 mm 削る。

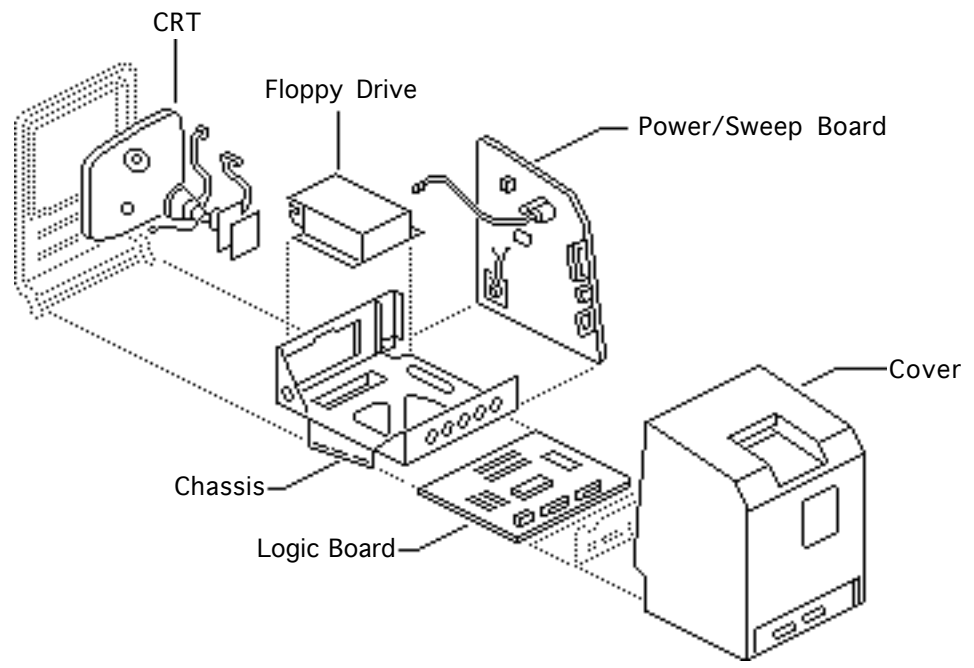
トラブル症状：

リセット/インタラプトスイッチを装着しているとき、突然システムが再起動することがある

アップグレードされた Macintosh 512K で RFIシールドが2枚使われている

対処方法：

1) この機種には、RFIシールドが2枚取り付けられているものがあります。RFIシールドは1枚だけにすることもできます（交換用を用意しています）。



前作業：

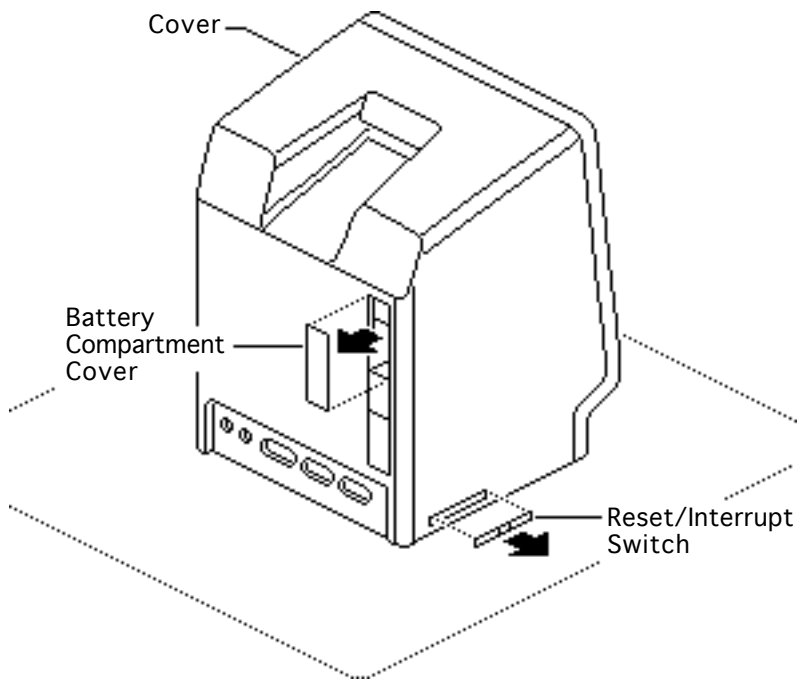
なし

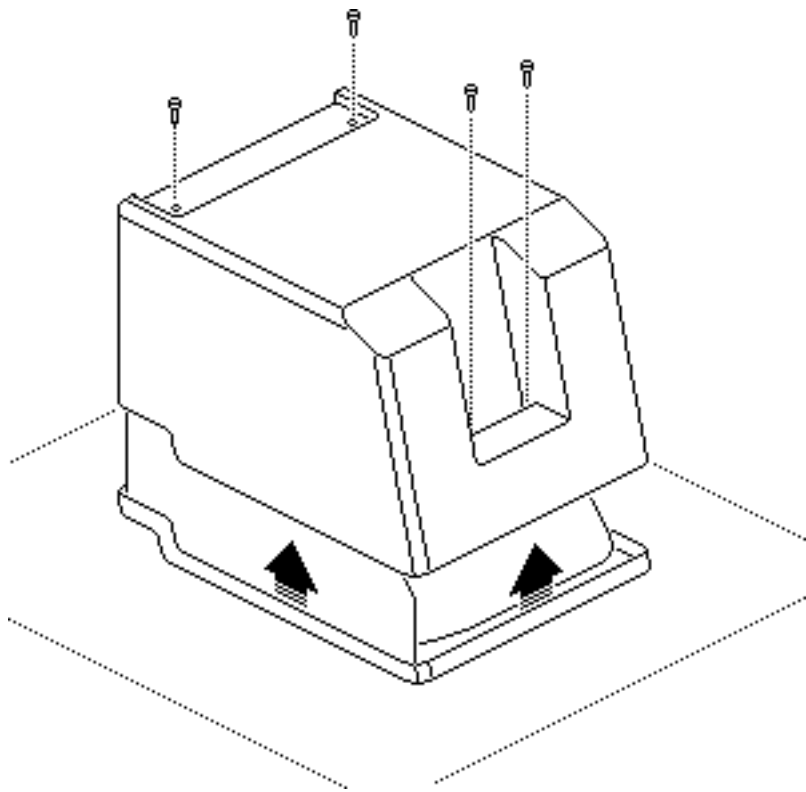
警告：

以下の作業で扱うCRT
(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

バッテリー・コンパートメント・カバー
(Battery Compartment Cover)を外す。

リセット/インタラプトスイッチ (Reset/
Interrupt Switch) が装着されていれば外す。





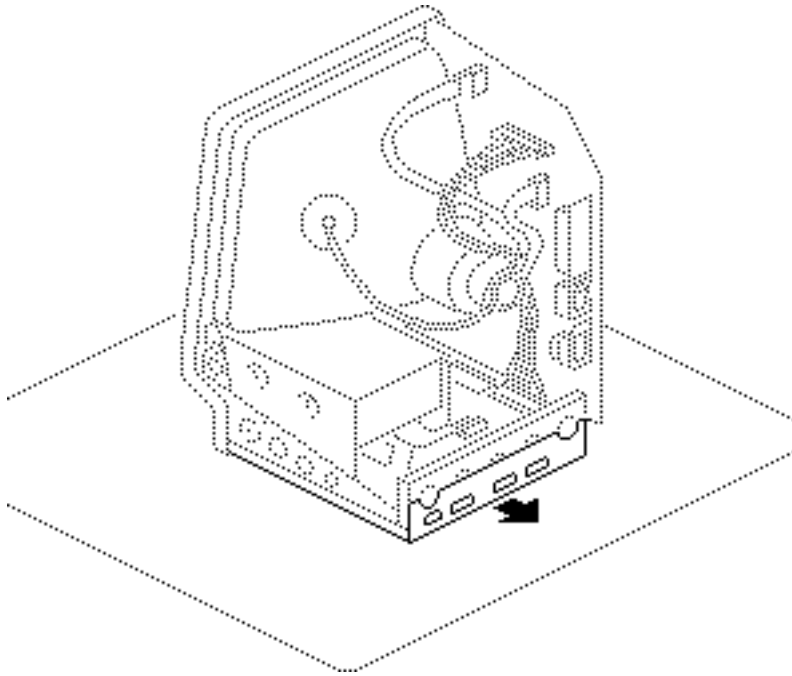
トルクスドライバを使い、ケースを固定しているスクリュー（×4）を外す。

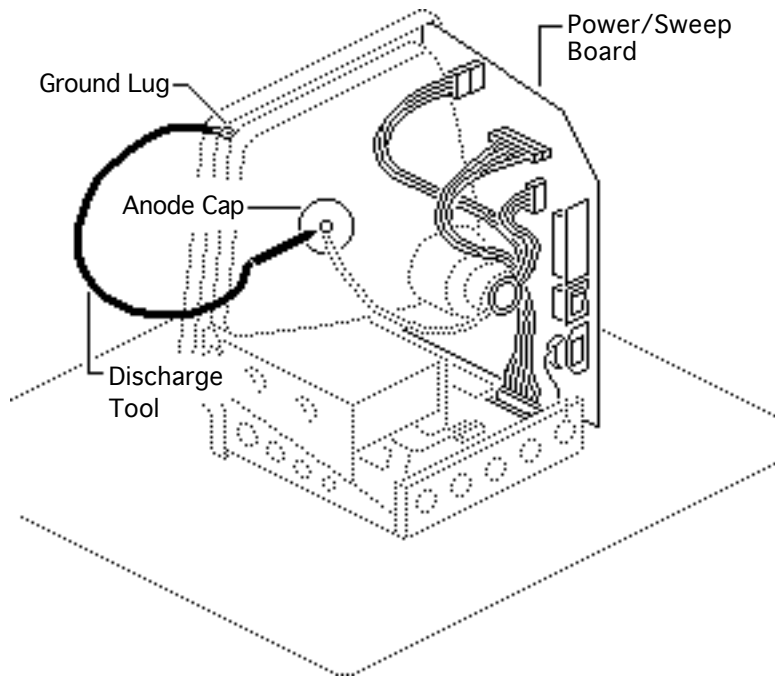
プルアパートツール（Pull-Apart Tool）を使い、慎重にカバーを外す。

警告：

金属シャーシの縁は鋭くなっている場合があります。カバーを外した状態で Macintosh の位置を変えたりするときは、シャーシで手などを切らないように注意してください。

RFI シールドを外す。



**前作業：**

- カバーを外す
- CRTを放電する
- アノードキャップを外す

警告：

以下の作業で扱うCRT

(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

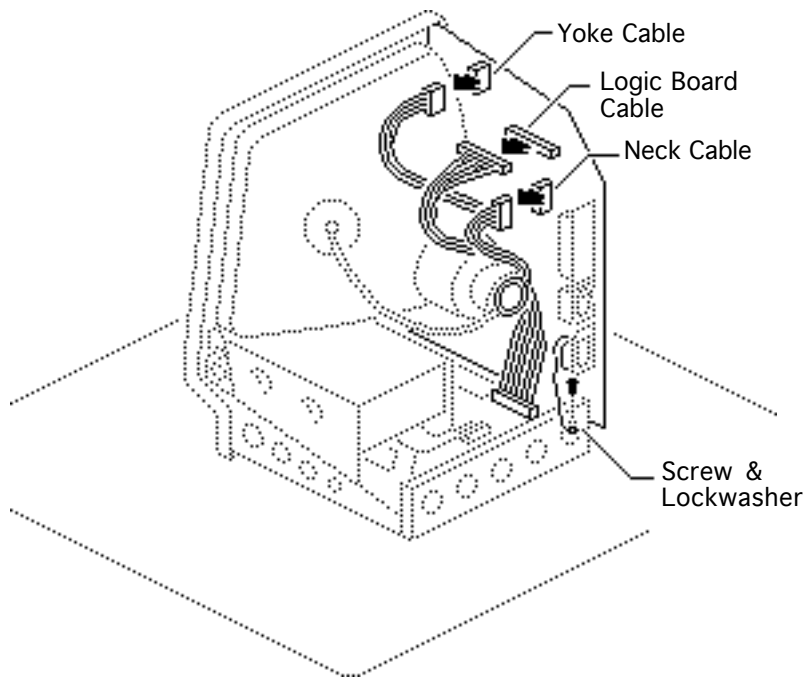
注意：

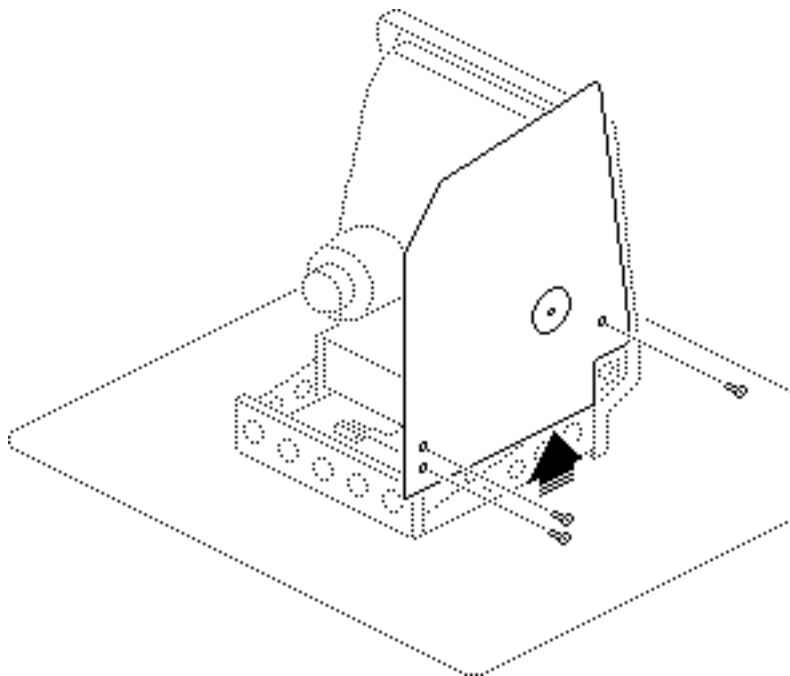
ESD対策のため、リストバンドで人体アースをとってください。ただし、CRTの残留電荷を逃しきるまでは、リストバンドなどの人体アースは絶対に身に付けしないでください。

パワースイープボードから下記を外す。

- ヨークケーブル (Yoke Cable)
- ロジック・ボード・ケーブル (Logic Board Cable)
- ネックケーブル (Neck Cable)

シャーシにグラウンドワイヤを固定しているスクリュー (Screw) とロックワッシャー (Lockwasher) を外す。



**注記：**

パワースweepボードから絶縁ペーパーを外さないと、スクリューが見えない場合があります。

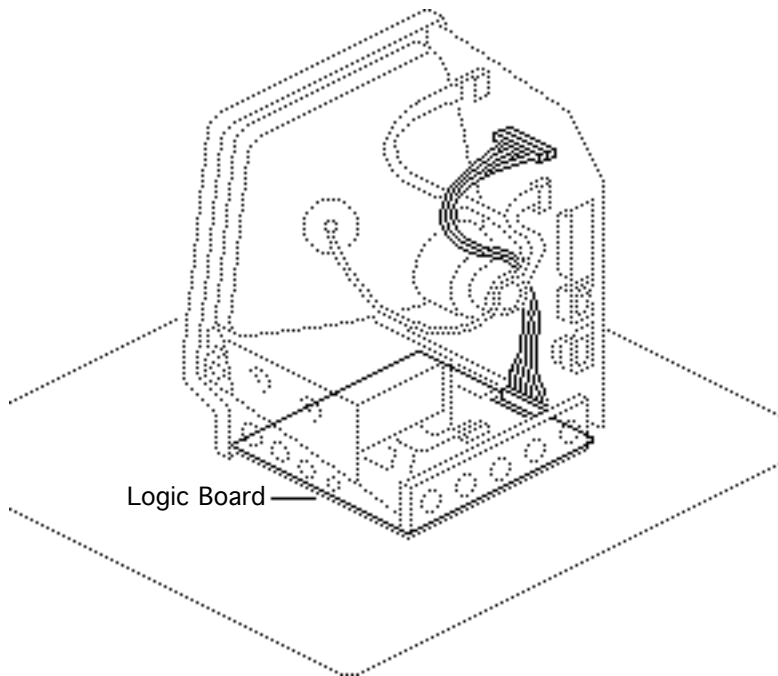
スクリューとワッシャ（×3）を外し、シャーシからパワースweepボードを引き上げて外す。

交換時の注意：

カバー以外のパーツをすべて取り付けたら、電圧とビデオの調整を実施してください（詳しくは「Adjustments - Voltage」と「Adjustments - Video」参照）。

交換時の注意：

アップルコンピュータKBBセンターへパワースweepボードを送付する場合には、ロジックボードとの接続に使用されていたケーブルを添付してください。また、コントラストコントロールのノブとバッテリーを取り外し、交換用の新しいパワースweepボードに取り付けてください。

**前作業：**

- カバーを外す
- CRTを放電する

警告：

以下の作業で扱うCRT

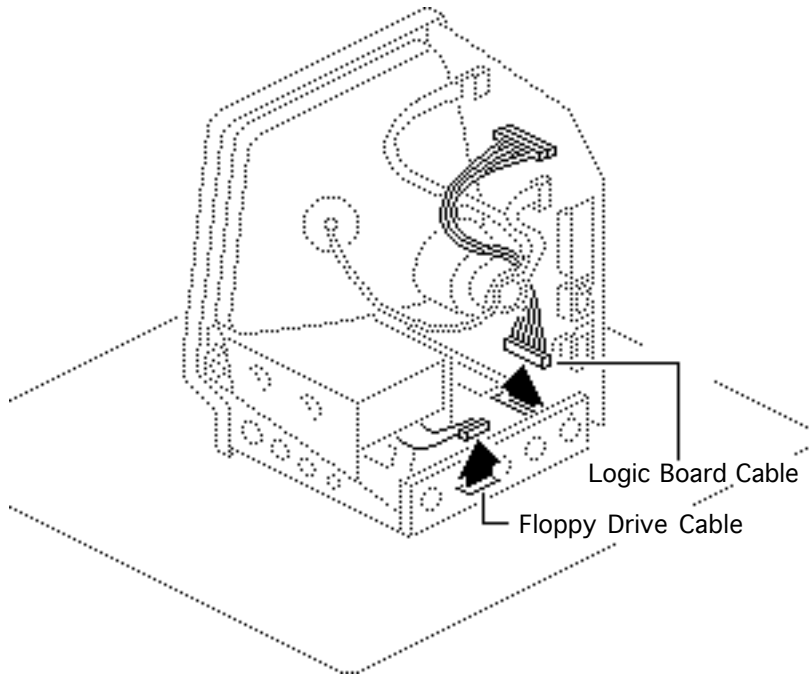
(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

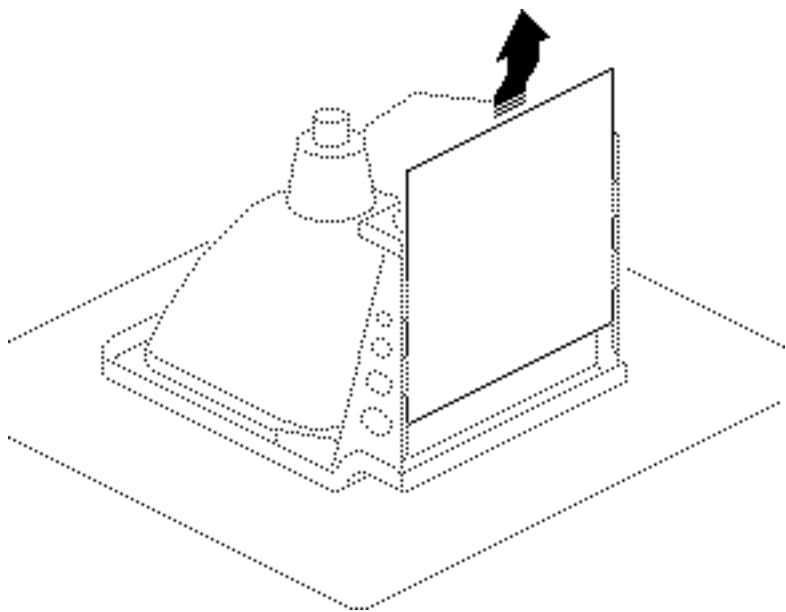
注意：

ESD対策のため、リストバンドで人体アースをとってください。ただし、CRTの残留電荷を逃しきるまでは、リストバンドなどの人体アースは絶対に身に付けしないでください。

ロジックボードから下記を外す。

- フロッピー・ドライブ・ケーブル (Floppy Drive Cable)
- ロジック・ボード・ケーブル (Logic Board Cable)





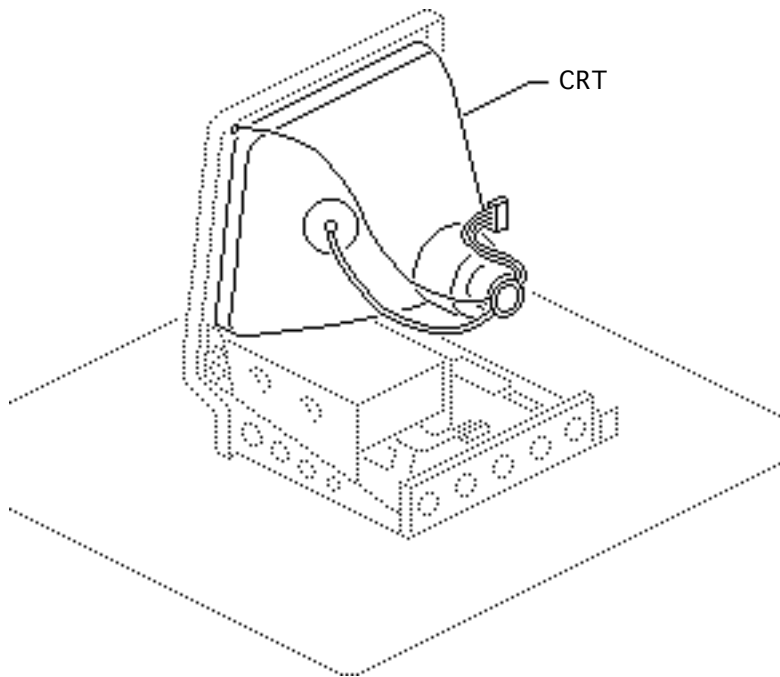
注意：ロジックボードを外すときは、SIMMを傷めないようにしてください。大きめのDIP SIMMがロジックボードに装着されている場合、特に注意が必要です。

ロジックボードの上端を少しだけ外側へ引いてから、慎重に外す。

交換時の注意：カバー以外のパーツをすべて取り付けたら、電圧とビデオ調整を実施してください（詳しくは「Adjustments - Voltage」と「Adjustments - Video」参照）。

交換時の注意：512 Kロジックボードを交換するときは、古いボードのROMを新しいボードに取り付けてください。

交換時の注意：異常の認められたロジックボードのSIMMは、取り外して交換用の新しいロジックボードに装着してください。

**前作業：**

- カバーを外す
- CRTを放電する
- パワースイッチボードを外す

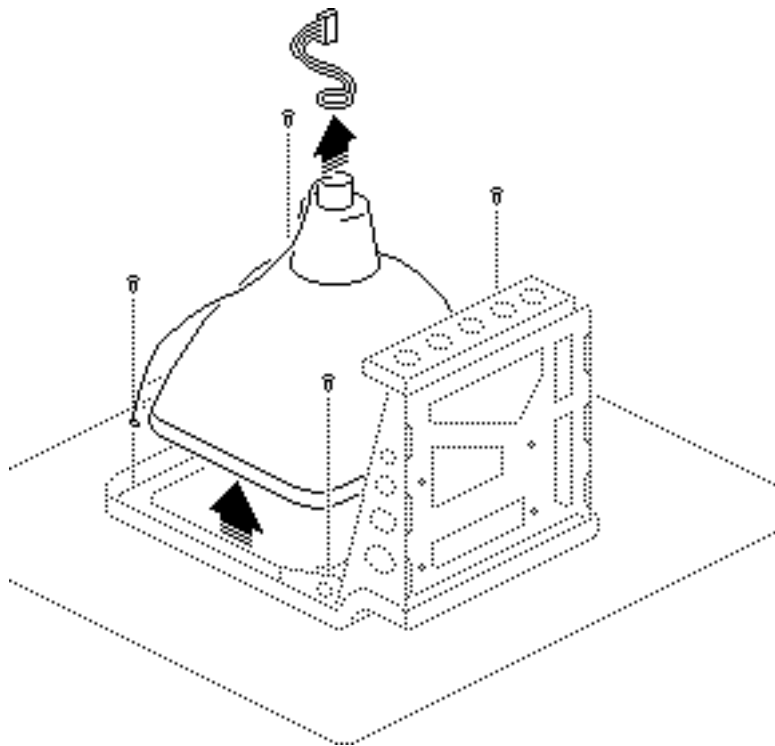
警告：

以下の作業で扱うCRT

(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

注意：

ESD対策のため、リストバンドで人体アースをとってください。ただし、CRTの残留電荷を逃しきるまでは、リストバンドなどの人体アースは絶対に身に付けしないでください。

**警告：**

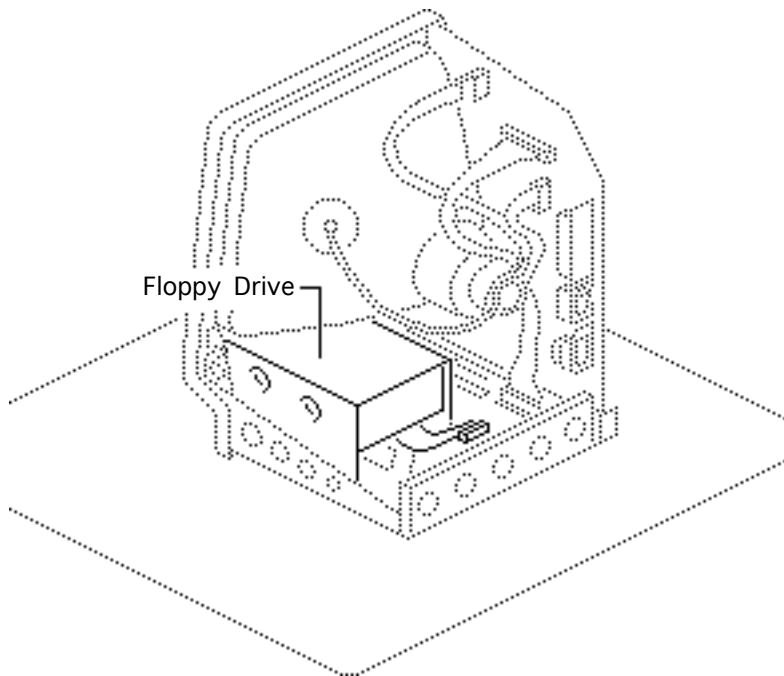
CRTを持つときは、縁の部分に手をかけてください。ネックを持ったり、アノードに触れることは避けてください。

CRTのネックから、図のように、ソケットケーブルをまっすぐに引き抜く。

スクリー（×4）とグラウンドワイヤを外し、フロントベゼルからCRTを持ち上げて外す。

交換時の注意：

CRTを交換した場合、カバーを取り付ける前に表示機能とヨークを調整してください（「Adjustments - Video」と「Adjustments - Yoke」参照）。

**前作業：**

- カバーを外す
- CRTを放電する
- ロジックボードを外す

警告：

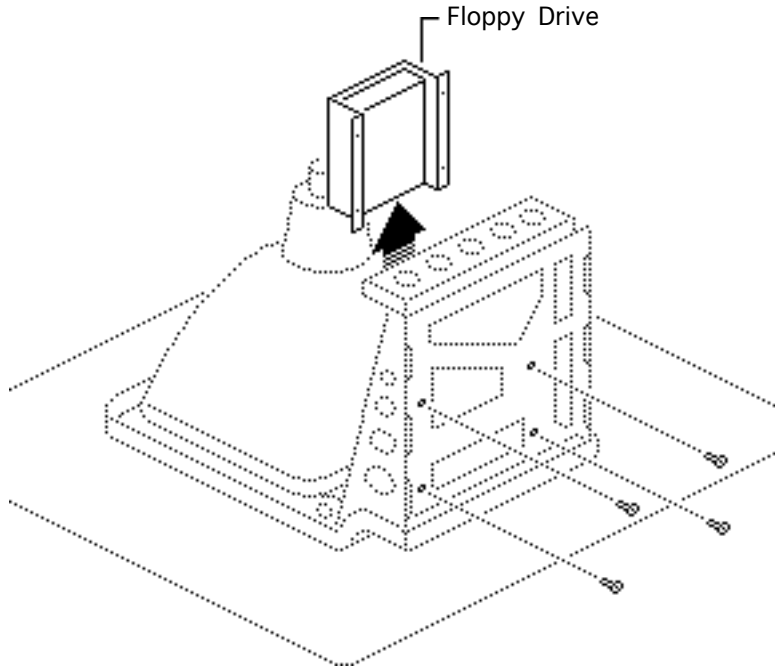
以下の作業で扱うCRT

(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

注意：

ESD対策のため、リストバンドで人体アースをとってください。ただし、CRTの残留電荷を逃しきるまでは、リストバンドなどの人体アースは絶対に身に付けしないでください。

スクリュー (×4) を外し、シャーシからフロッピー・ディスク・ドライブ (Floppy Drive) を引き出す。

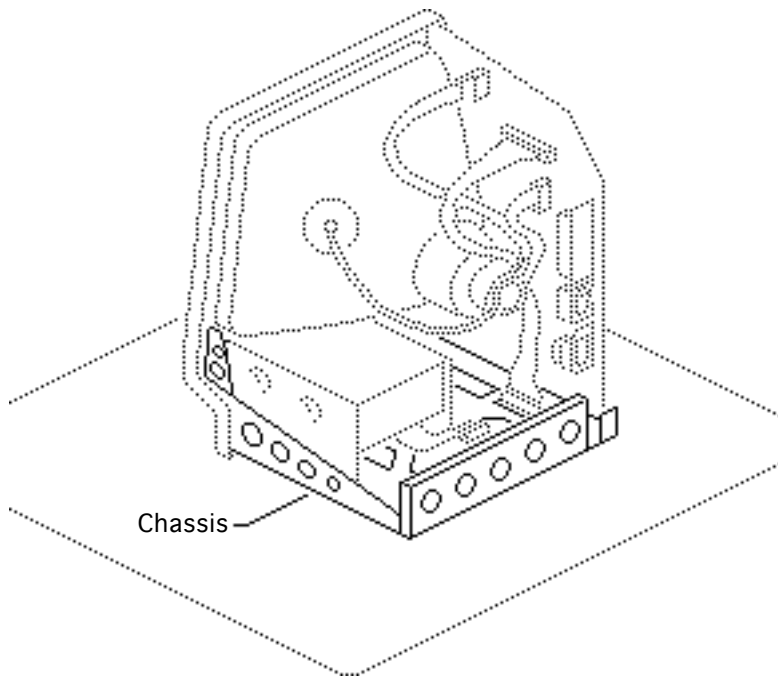


交換時の注意：

400Kのフロッピー・ディスク・ドライブは、最初からドライブシールドに入れて出荷しています。新しい800Kフロッピー・ディスク・ドライブを取り付けるときは、まず輸送用治具とパッキングディスクケットを外してください。プラスチック製のダストシールドがついているときは、それも外します。ドライブは、顧客所有機のドライブシールドに組み付けてください。

注記：

交換用ドライブにはダストシールドがついているものがあります。ドライブは、ダストシールドを外してから取り付けてください。

**前作業：**

- カバーを外す
- CRT を放電する
- ロジックボードを外す
- パワースイープボードを外す
- フロッピー・ディスク・ドライブを外す

警告：

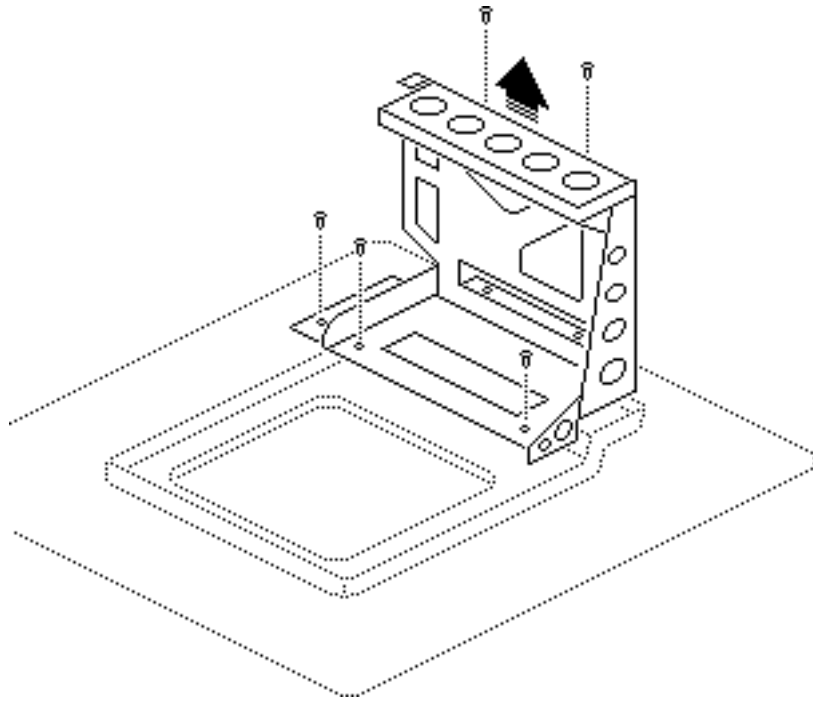
以下の作業で扱うCRT

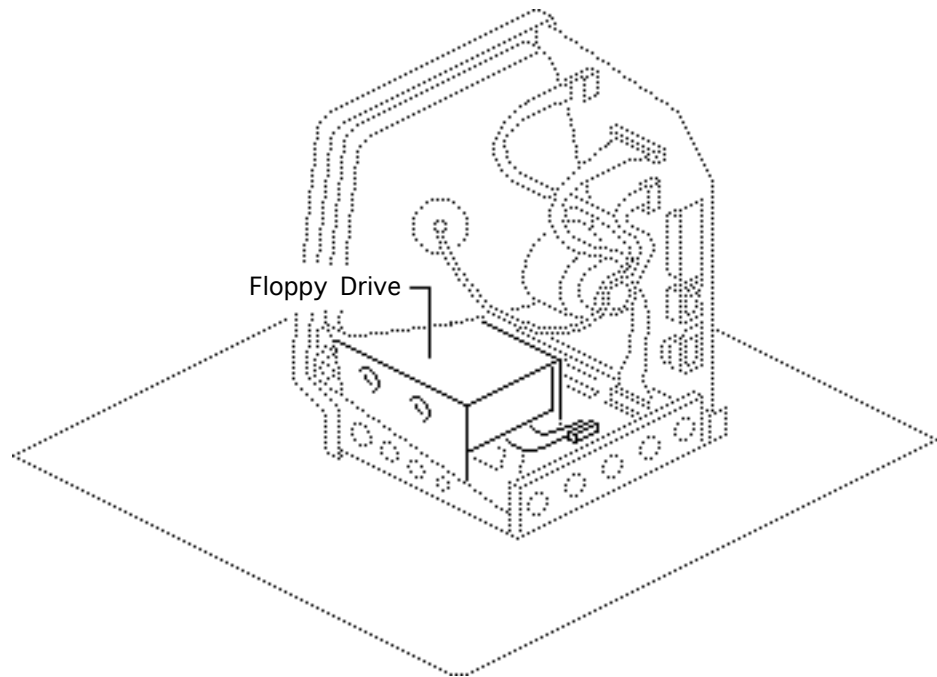
(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

注意：

ESD 対策のため、リストバンドで人体アースをとってください。ただし、CRTの残留電荷を逃しきるまでは、リストバンドなどの人体アースは絶対に身に付けしないでください。

スクリー (×5) を外し、フロントベゼルからシャーシを外す。



**前作業：**

- カバーを外す
- CRTを放電する
- ロジックボードを外す

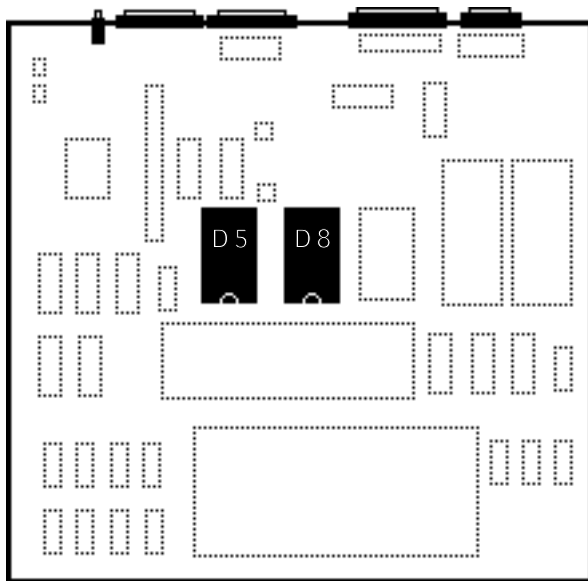
警告：

以下の作業で扱うCRT

(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

注意：

ESD対策のため、リストバンドで人体アースをとってください。ただし、CRTの残留電荷を逃しきるまでは、リストバンドなどの人体アースは絶対に身に付けしないでください。

**注記：**

このキットはMacintosh 512Kを対象としたもので、400Kフロッピー・ディスク・ドライブを、800Kフロッピー・ディスク・ドライブへアップグレードするときに使います。キットには、新しいドライブのほか、ROMチップが2個含まれ、400Kドライブと800Kドライブの両方をサポートしています。このキットは、Macintosh 128Kでは使用しないでください。

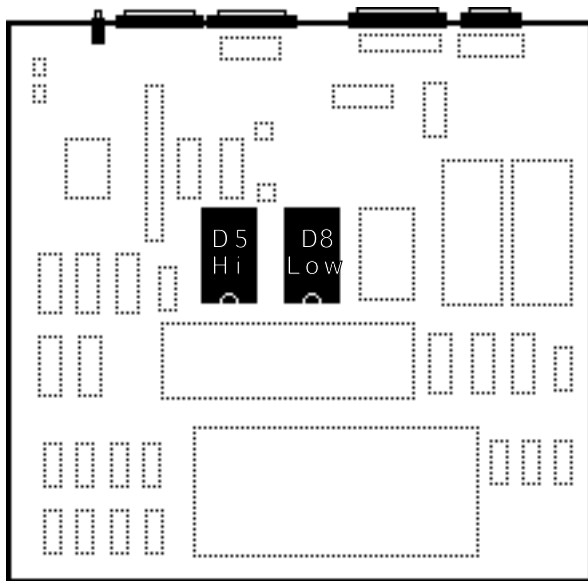
IC エクストラクションツールを使い、ロジックボードの「D5」と「D8」にある古いROMを外す。

ロジックボードの下記の位置に新しいROMチップ(×2)を装着する。

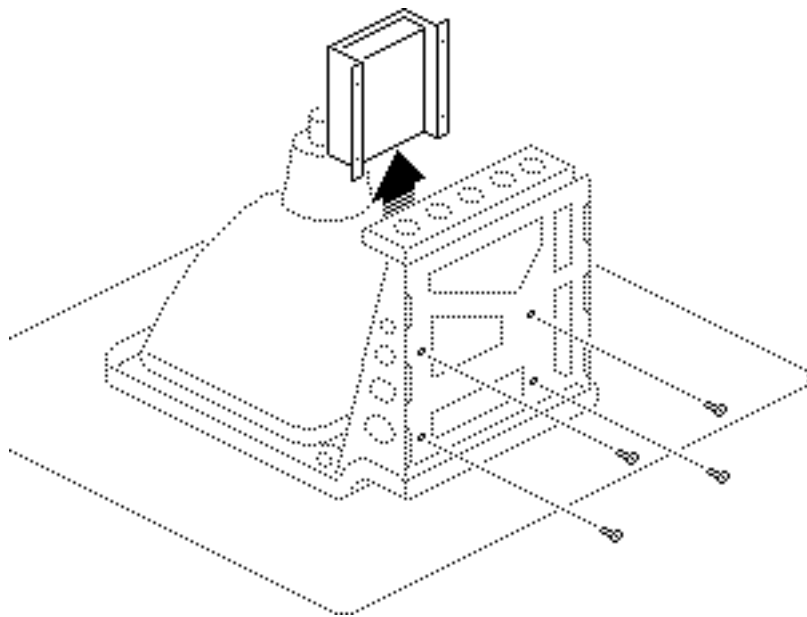
- ROM HIを「D5」に
- ROM LOWを「D8」に

注記：

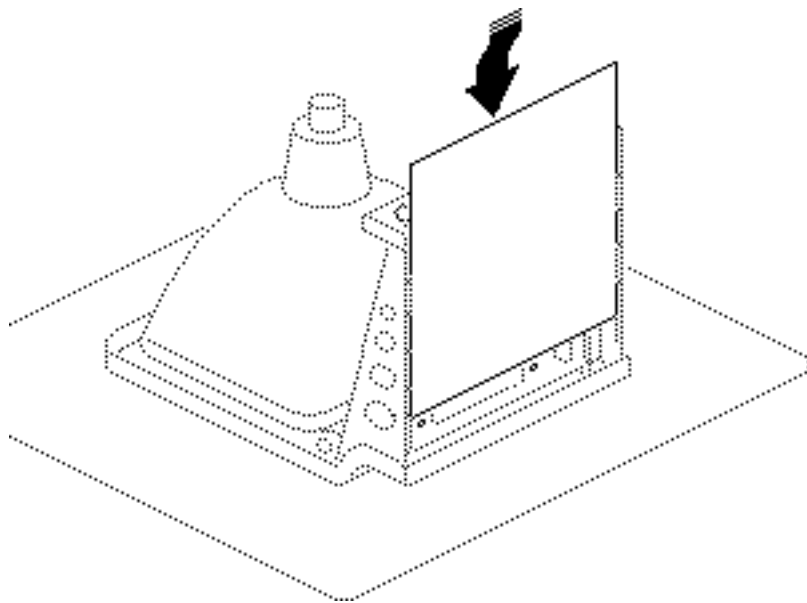
チップの表面の隅にある小さなくぼみが、Macintoshの前部を向くように装着してください。



フロッピー・ディスク・ドライブを外す
(「Take Apart - Floppy Drive」参照)。

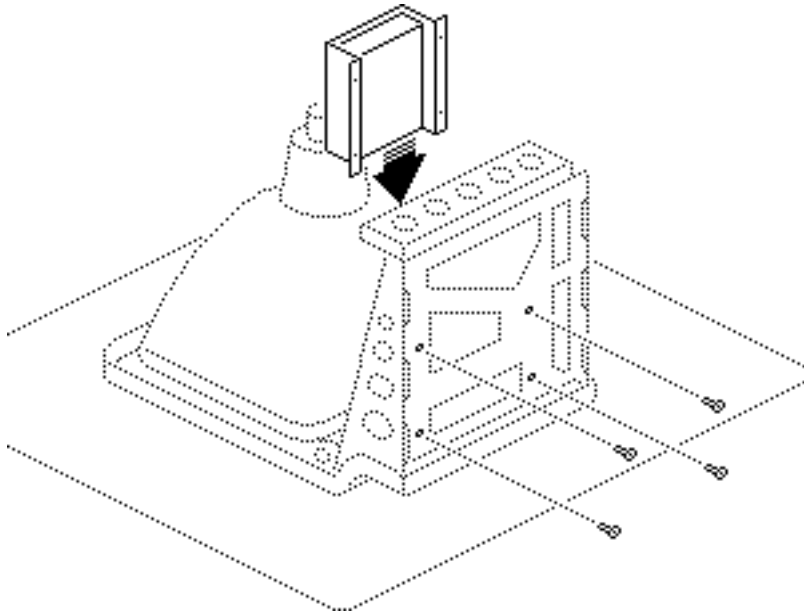


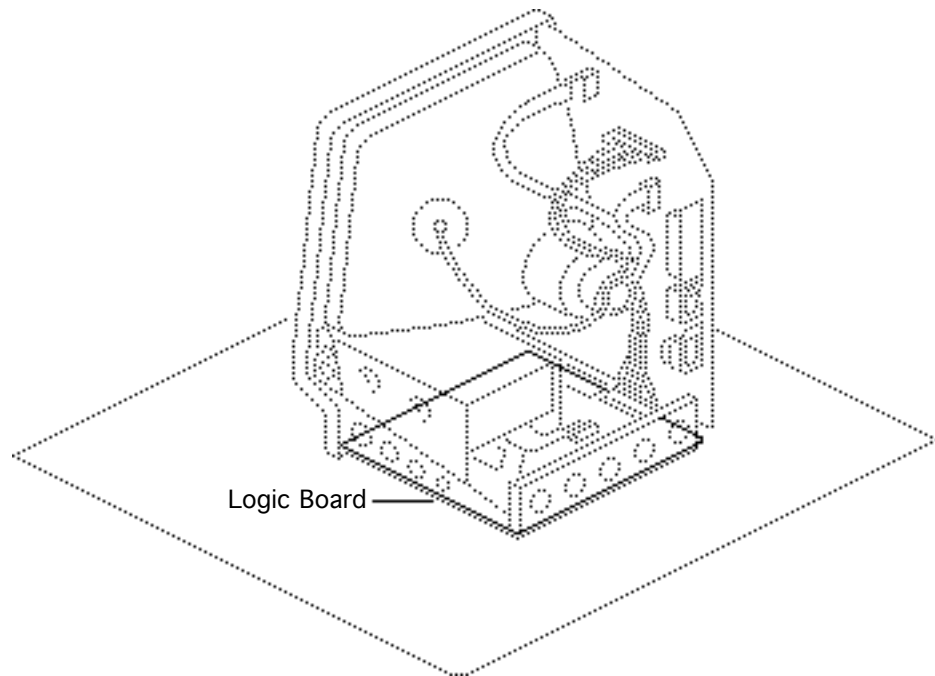
ロジックボードをもとどおりに取り付ける
(「Take Apart - Logic Board」参照)。



新しい1800Kフロッピー・ディスク・ドライブを取り付ける（詳しくは「Take Apart - Floppy Drive」参照）。

取り外した古いROMチップを、400Kフロッピー・ディスク・ドライブとともに返却する（詳しくはキットに付属の書類を参照）。



**前作業：**

- カバーを外す
- CRTを放電する
- ロジックボード (Logic Board) を外す

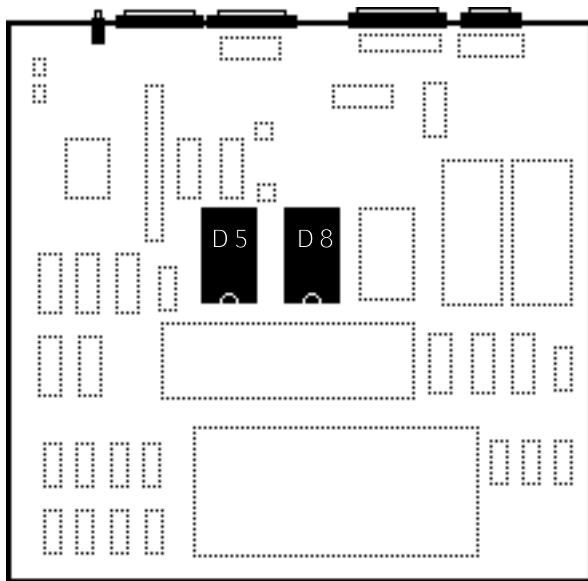
警告：

以下の作業で扱うCRT

(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

注意：

ESD対策のため、リストバンドで人体アースをとってください。ただし、CRTの残留電荷を逃しきるまでは、リストバンドなどの人体アースは絶対に身に付けしないでください。

**注記：**

このキットは、Macintosh 512Kを、Macintosh Plusへアップグレードするときに使います。ただし、フロッピー・ドライブ・アップグレード・キット

（Floppy Drive Upgrade Kit）を適用ずみのロジックボードのみが対象となります。

キットには、1 MBのRAMを実装した新しいロジックボード、RFIシールド、リア・ハウジング・アセンブリが含まれます。

ICエクストラクションツールを使い、512K ロジックボードの

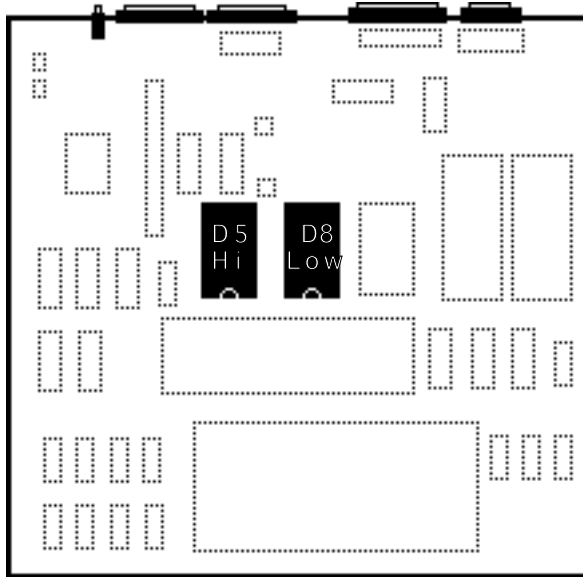
「D5」と「D8」にある古いROMを外す。

ロジックボードの下記の位置に新しいROMチップ(×2)を装着する。

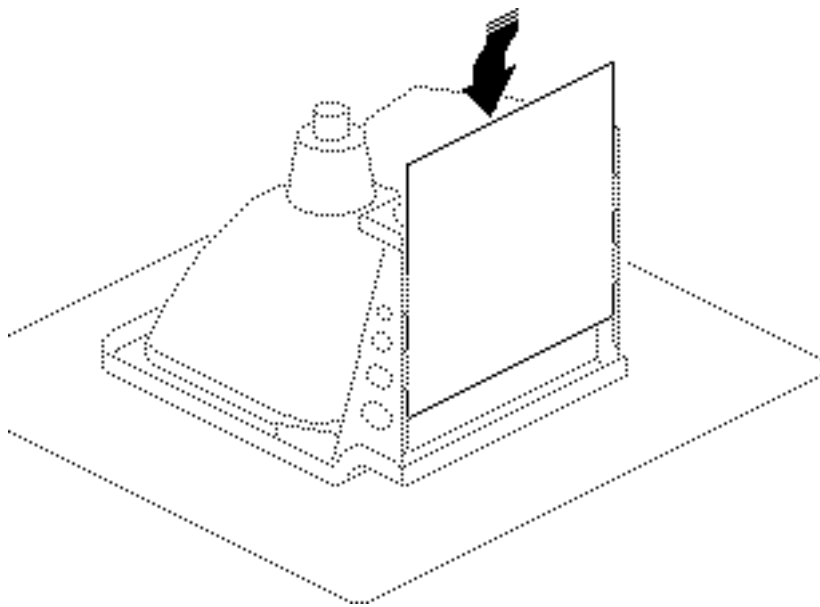
- ROM HIを「D5」に
- ROM LOWを「D8」に

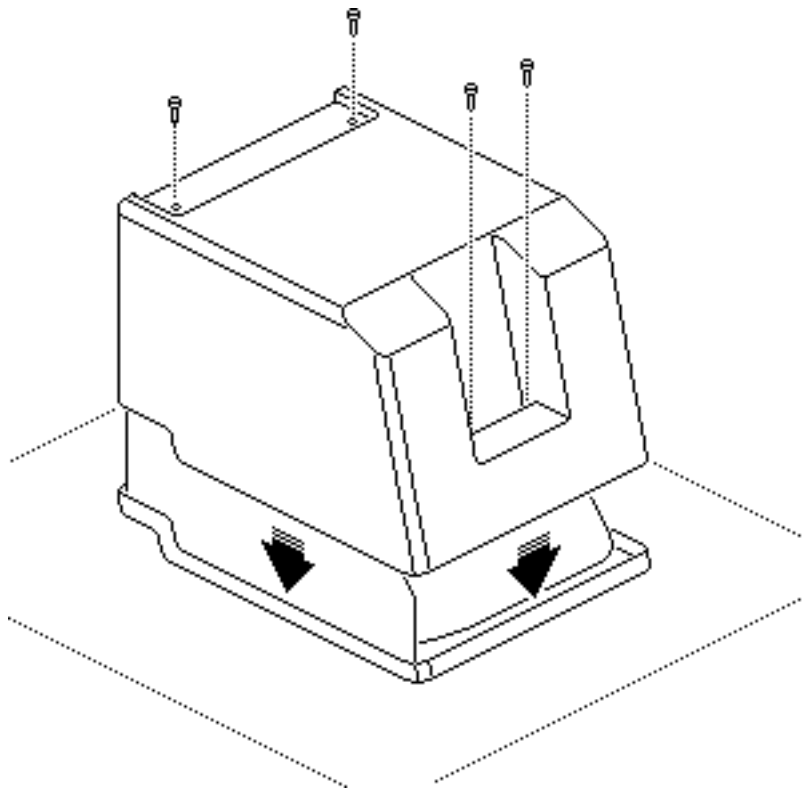
注記：

チップの表面の隅にある小さなくぼみが、Macintoshの前部を向くように装着してください。



新しいロジックボードを取り付ける（詳しくは「Take Apart - Logic Board」参照）。

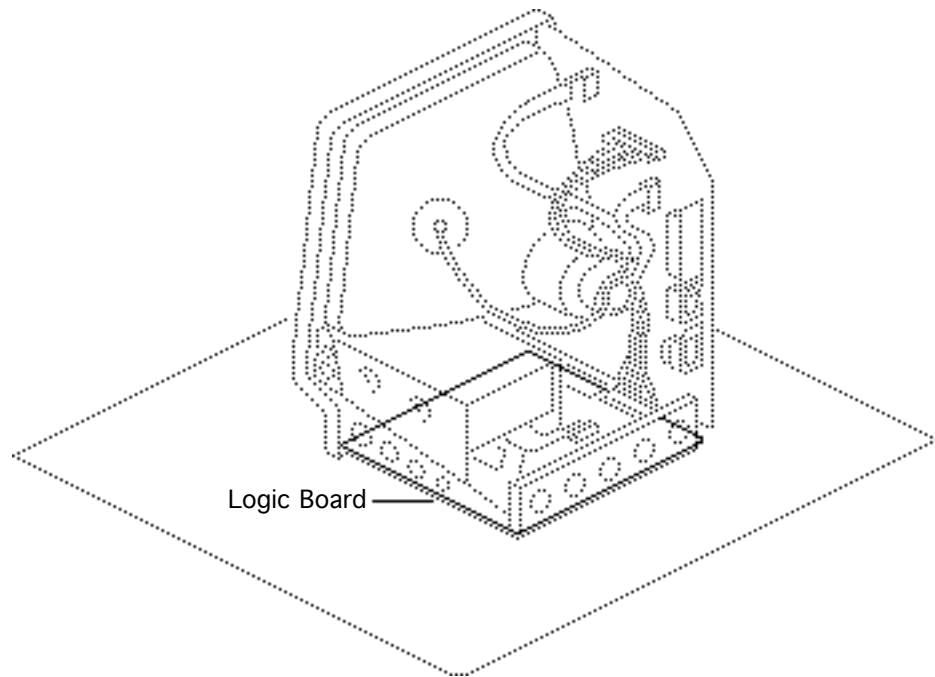




キットに入っているRFIシールド、カバーを順に取り付ける。

(詳しくは「Take Apart - Cover」参照)

取り外した古いロジックボードを、古いRFIシールドとカバーとともに返却する。

**前作業：**

- カバーを外す
- CRTを放電する
- ロジックボード (Logic Board) を外す

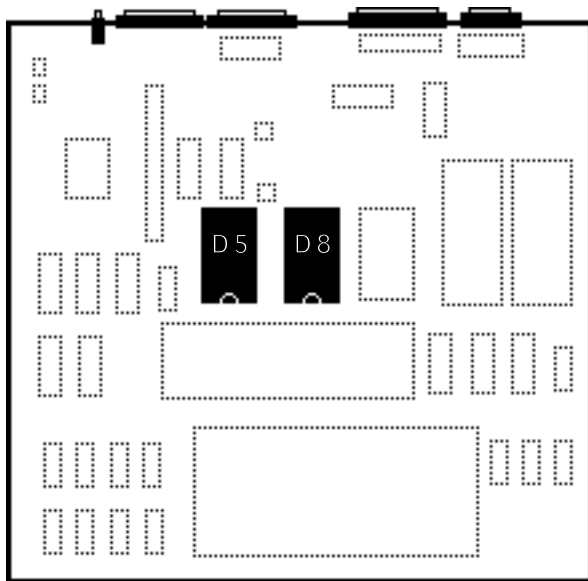
警告：

以下の作業で扱うCRT

(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

注意：

ESD対策のため、リストバンドで人体アースをとってください。ただし、CRTの残留電荷を逃しきるまでは、リストバンドなどの人体アースは絶対に身に付けしないでください。



注記：

現行の400Kフロッピー・ディスク・ドライブには新型ステッパモータが使用されており、Macintosh 512Kや128Kに最初から装着されているROM（×2）では対応できません。交換用の新しいROMは、新旧両方のステッパモータに対応しています。

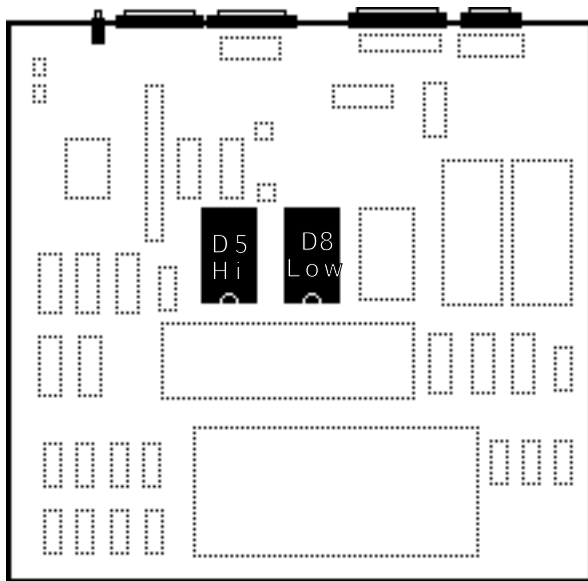
ICエクストラクションツールを使い、ロジックボードの「D5」と「D8」にある古いROMを外す。

ロジックボードの下記の位置に新しいROMチップ(×2)を装着する。

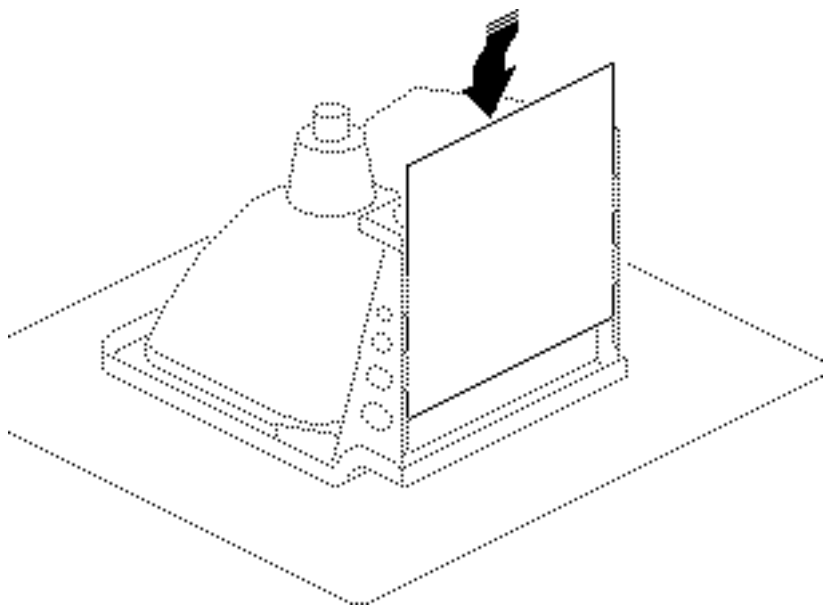
- ROM HIを「D5」に
- ROM LOWを「D8」に

注記：

チップの表面の隅にある小さなくぼみが、Macintoshの前部を向くように装着してください。



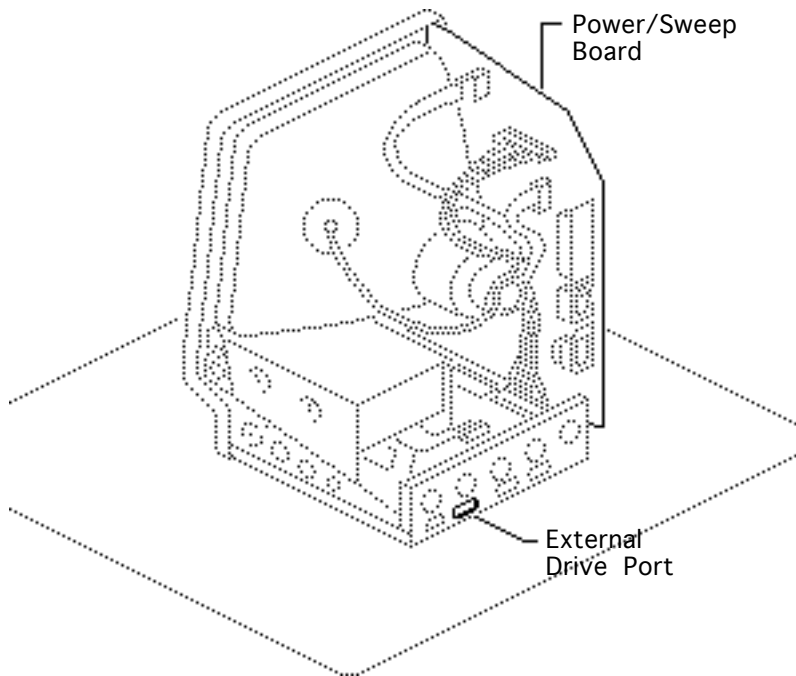
ロジックボードをもとどおりに取り付ける
(詳しくは「Take Apart - Logic Board」参
照)。



前作業：

以下を外す。

- カバー

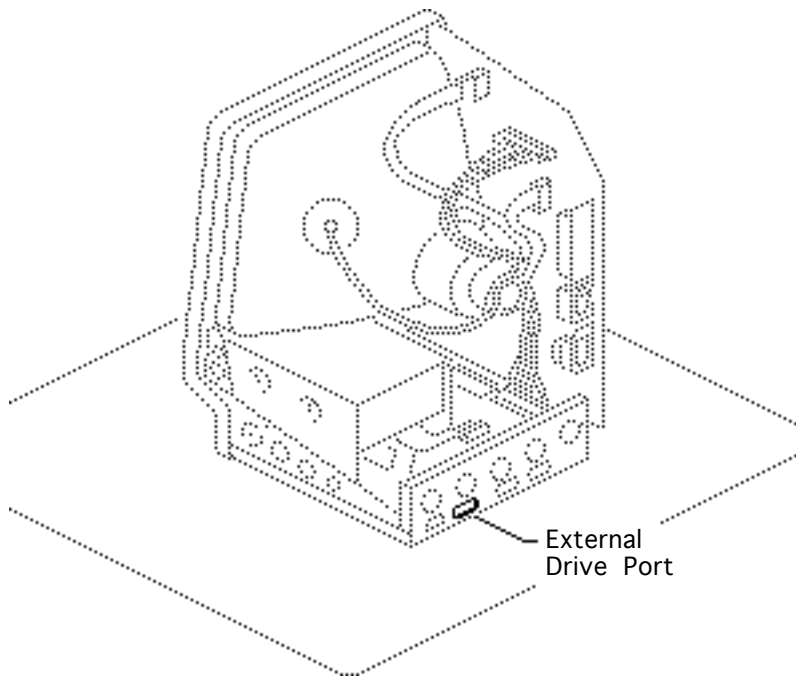


警告：以下の作業で扱うCRT

(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

注意：電圧はMacintoshの背面部から調整する必要があり、作業中にスクリーンの表示を直接見ることができません。鏡を用意し、スクリーンの表示を調整中に確認できるようにしてください。Macintoshの背面部からCRTを調整するときは、首をのぼすなどしてスクリーンを見ることは避けてください。

注記：ロジックボード、パワースイープボード (Power / Sweep Board) をどちらかでも交換した後は、かならず電圧をチェックしてください。



テスタの測定レンジを「20 V」にセットする。

外部ドライブポート (External Drive Port) に Macintosh 電圧テストケーブル (P/N 077-0135) を接続する。

注意：

ケーブル両端のプラグをつなぎ合わせることは避けてください。故障の原因となります。プラグにはゴムのフードをかぶせてください。

テスタの GND 端子と、Macintosh のシャーシの間を黒色のリード線でつなく。

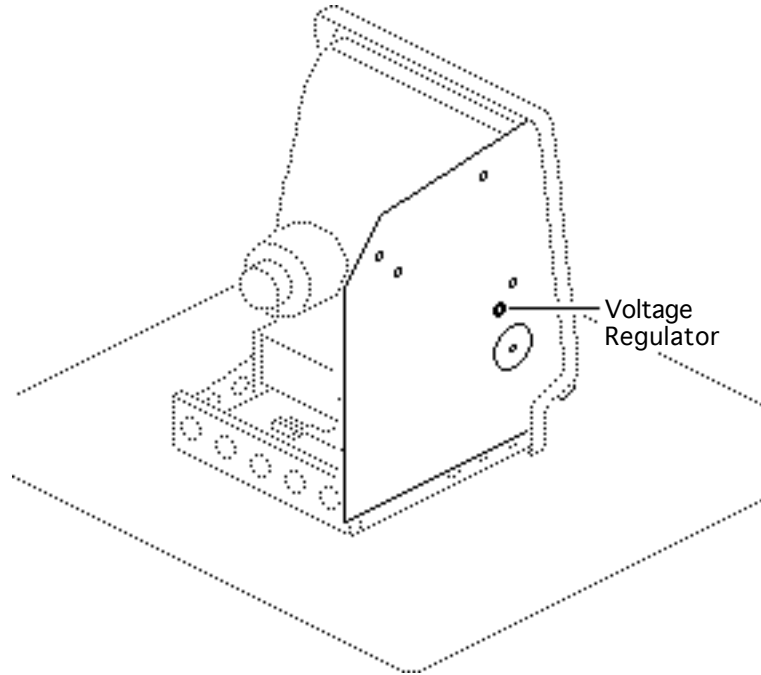
橙色のリード線を、テスタの電圧入力端子に接続する。

本体の電源を入れる。

パワースイープボードのボルテージレギュレータ (Voltage Regulator) を調整し、11.90 ~ 12.75 V の計測値が得られるようにする。

本体の電源を切る。

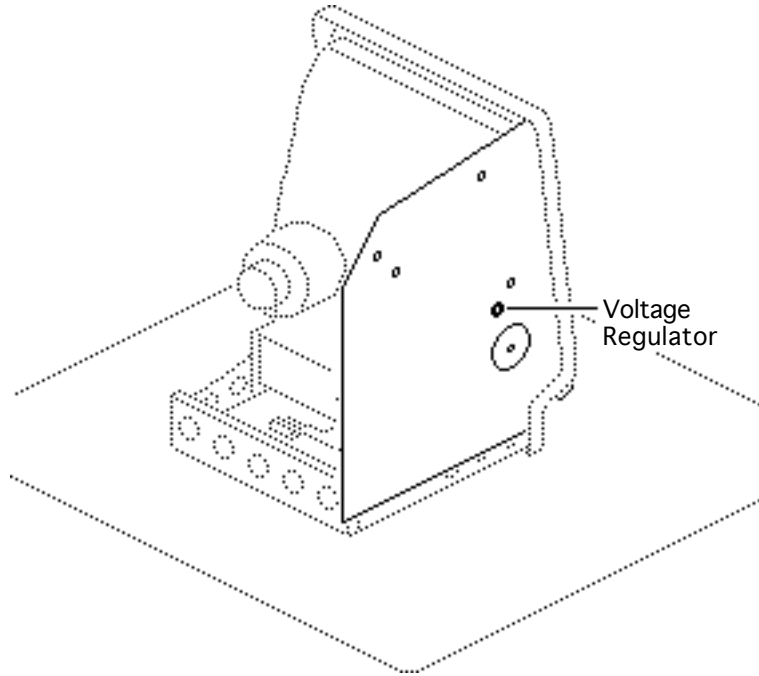
橙色のリード線を外し、プラグ部に絶縁フードをかぶせる。



テストの電圧入力端子に赤色のリード線を接続する。

本体の電源を入れる。

パワースイープボードのボルテージレギュレータ (Voltage Regulator) を調整し、4.86 ~ 5.15 V の計測値が得られるようにする。



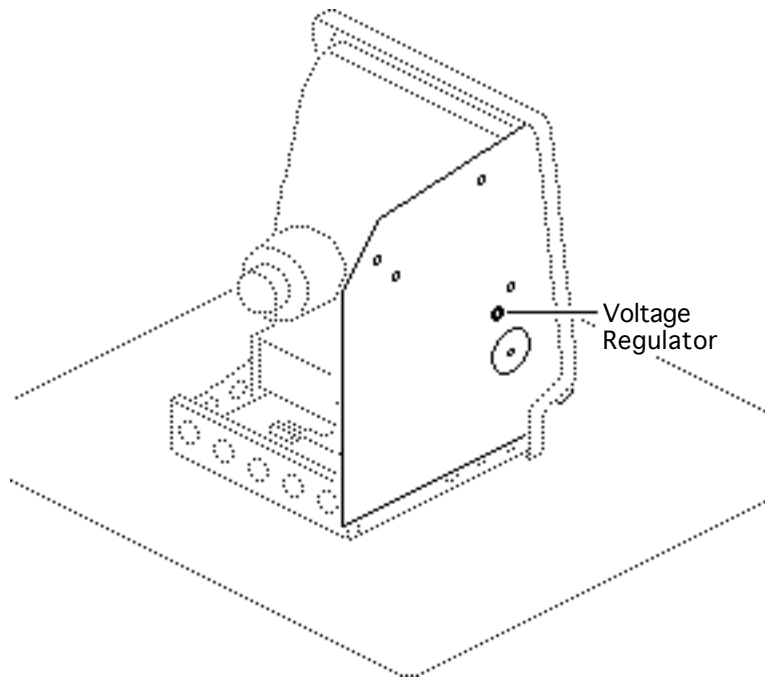
本体の電源を切る。

赤色のリード線を外し、プラグに絶縁フードをかぶせる。

テストを繰り返し、両方の電圧が所定の範囲にあることを確認する。

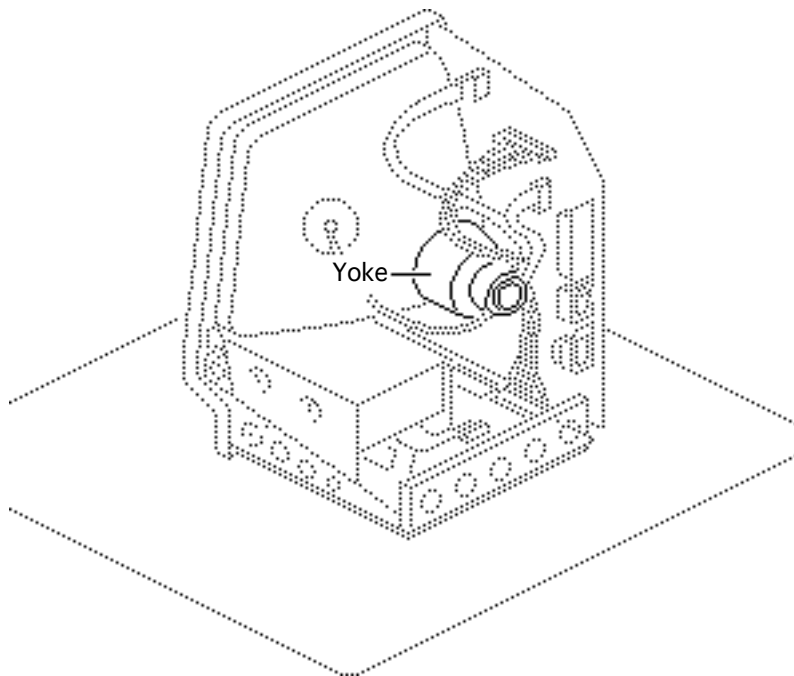
注記：

調整しても両方の電圧が所定の範囲にならない場合、パワースイープボードを交換してください。



前作業：

- カバーを外す
- CRT を放電する



警告：以下の作業で扱うCRT

（ブラウン管）は、印加電圧が高く、真空度の高いパーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎重に進めてください。Doメニューから「Safety Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を確認してください。

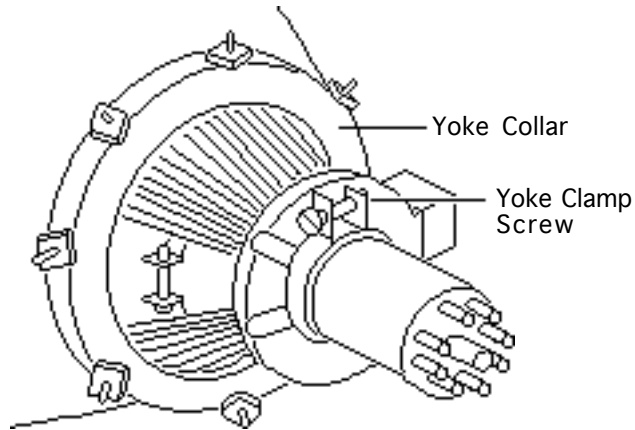
注意：電圧はMacintoshの背面部から調整する必要があり、作業中にスクリーンの表示を直接見ることができません。鏡を用意し、スクリーンの表示を調整中に確認できるようにしてください。Macintoshの背面部からCRTを調整するときは、首をのばすなどしてスクリーンを見ることは避けてください。

注記：CRT を交換した場合、ヨークの調整が必要となることがあります。

チルト調整

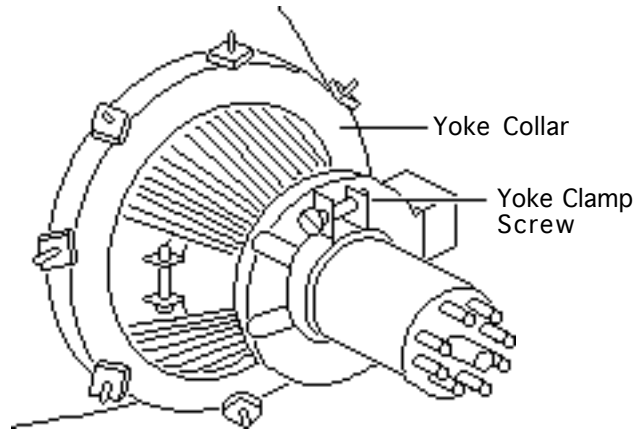
注記：

ヨークカラー（yoke collar）が接着剤で固定されている場合、カッタなどで接着剤を除去してください。



ヨーク・クランプ・スクリュー（Yoke Clamp Screw）を2～3回転させてゆるめる。

本体の電源を入れる。



片手でヨークカラー（Yoke Collar）のプラスチックスポーク（Plastic Spoke）を持つ。次に、画像の天地がそれぞれフロントベゼルの上辺・下片と平行になるまでヨークカラーを回す。

本体の電源を切り、電源コードを外す。

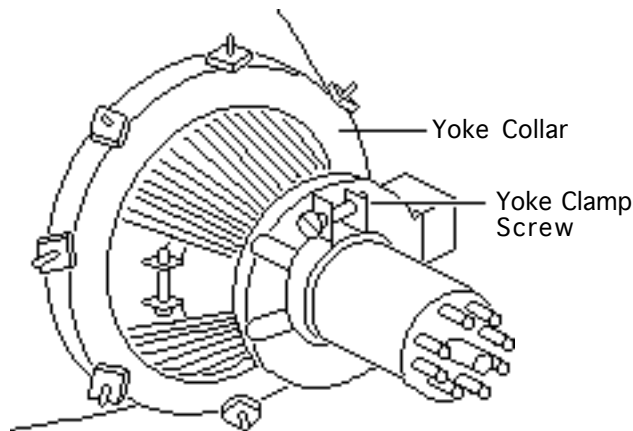
CRTの残留電荷を除去する。

注意：

ヨーク・クランプ・スクリュー（Yoke Clamp Screw）を締め付けすぎないように注意してください。

ヨークカラー（Yoke Collar）を調整ずみの位置からズレないように保持したまま、ヨークが動かない程度にスクリュー（Yoke Clamp Screw）を締め付ける。

本体カバーを取り付け、電源を入れる。画像の天地がそれぞれフロントベゼルの上辺・下辺と平行になっていることを確認すること。

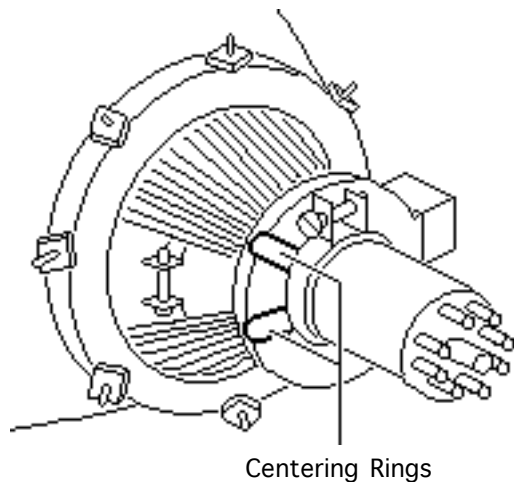


センタリング・リングの調整

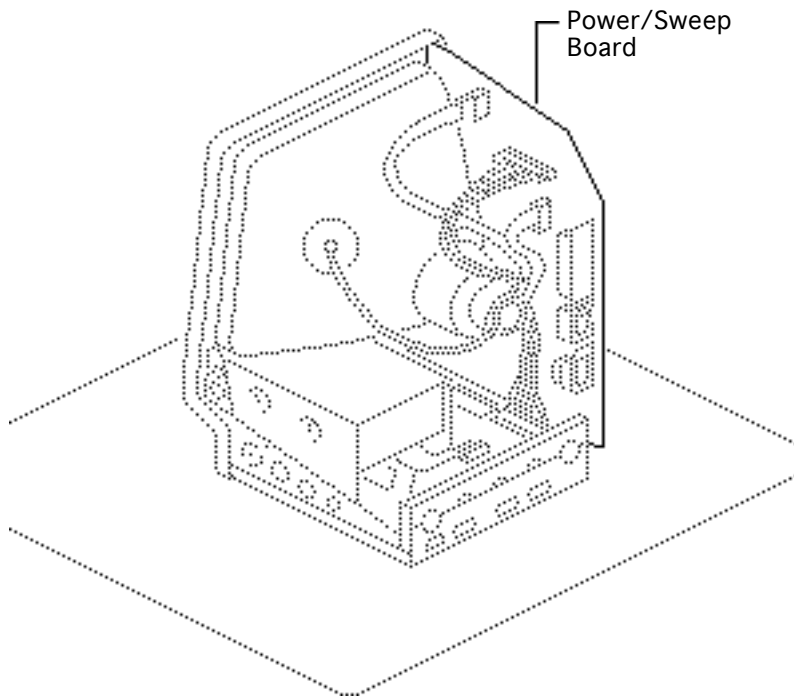
まず本体の電源を切る。次に、カバーを外してから電源を入れる。

注記：

ヨークカラーが接着剤で固定されている場合、カッタなどで接着剤を除去してください。



画像をフロントベゼル内の中央に表示するには、まず前方のセンタリング・リング（Centering Ring）を押えたまま、後方のセンタリング・リングを少しずつ動かす。次に、後方のセンタリング・リングを押えたまま、前方のセンタリング・リングを動かす。



前作業：
以下を外す。
● カバー

警告：以下の作業で扱うCRT
(ブラウン管)は、印加電圧が高く、真空度の高い
パーツです。事故や故障を防止するため、作業は慎
重に進めてください。Doメニューから「Safety
Information」を選び、CRTの取り扱いと放電手順を
確認してください。

注意：電圧はMacintoshの背面部から調整する必要
があり、作業中にスクリーンの表示を直接見ること
ができません。鏡を用意し、スクリーンの表示を調
整中に確認できるようにしてください。Macintosh
の背面部からCRTを調整するときは、首をのばすな
どしてスクリーンを見ることは避けてください。

注記：CRT、パワースイープボードのいずれかを交
換した後は、かならずビデオ調整をしてください。

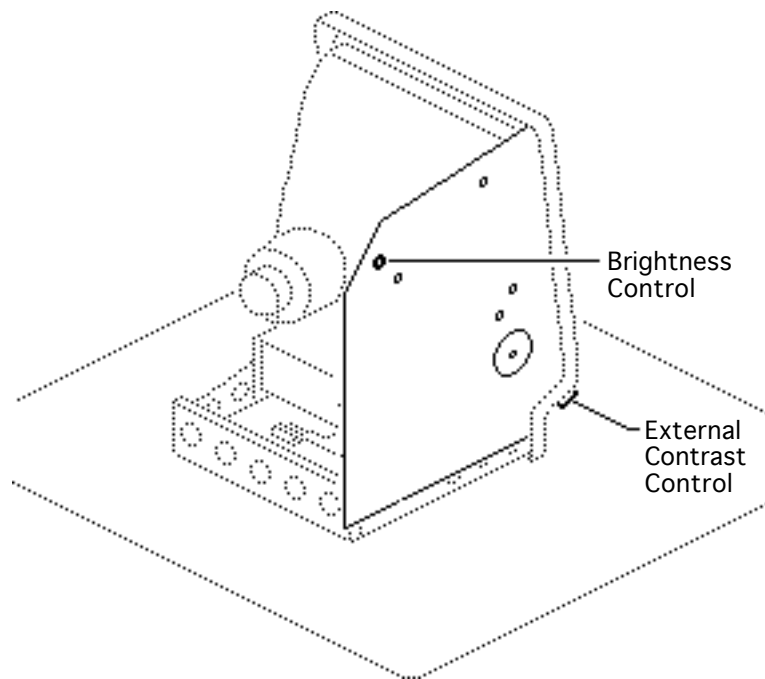
本体の電源を入れる。

輝度とコントラスト

外部コントラストのボリューム（External Contrast Control）を右へいっぱい回す。

まず、スクリーンに白い筋が何本か表示されるまで、ブライツネスのボリューム（Brightness Control）を左へ回す。次に、ブライツネスのボリュームを右へ回し、白い筋が消える位置で正確に止める。

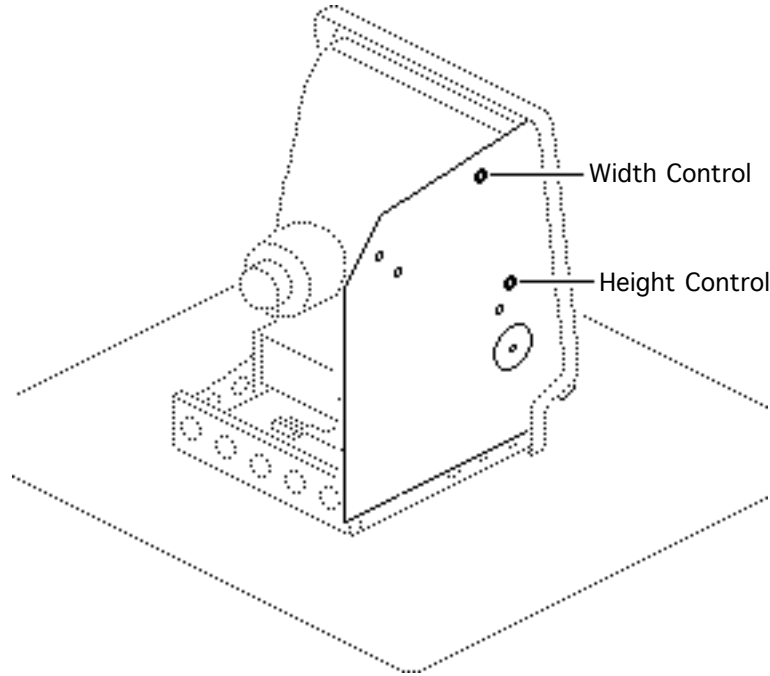
外部コントラストのボリュームを調整範囲の1/8ほど左へ回す。



サイズ調整

コア調整ドライバでワイドコントロール (Width Control) を回し、画像の幅が 177.8 mm (7.0 in.) になるようにする。

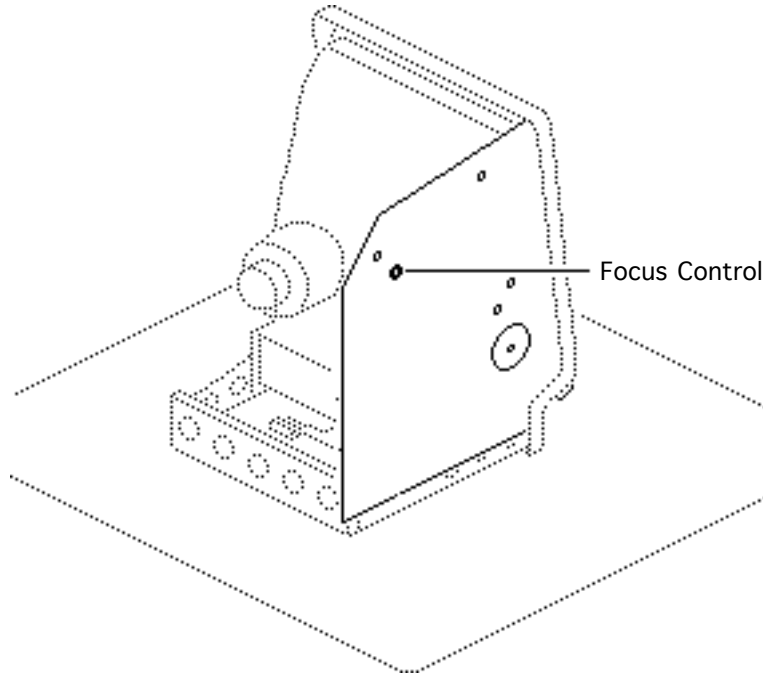
コア調整ドライバでハイトコントロール (Height Control) を回し、画像の高さが 119.4 mm (4.7 in.) になるようにする。



フォーカス調整

フォーカスのボリューム (Focus Control)
を右へいっぱいに戻す。

フォーカスのボリュームを調整範囲の 1/8
ほど戻す。



Exploded View

